

事業番号	07 04 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域産業の活性化事業	部局	産業労働部	課・室	産業技術課			
		実施期間	S60 ～	E-mail	sangi@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係								
重点目標	①労働生産性							
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成		2-2 地域内経済循環の促進			2-5 地域に根差した産業の振興		
	6-2 信州のブランド力向上と発信							

1 現状と課題

- ・地域産業の持続的な発展のため、新商品開発や効果的なPR等により、付加価値の向上や、ブランド力を強化していく必要がある。
- ・伝統的工芸品産業は、需要減少、後継者不足等により、地域産業の中でも特に厳しい状況。伝統的工芸品産業を未来につなぐため、総合的に支援していく必要がある。

2 事業目的

- ・企業等が行う地域資源を活用した製品開発を支援することにより製品の高付加価値化を図る。
- ・後継者の育成・確保、県内外の販路開拓など伝統的工芸品産業の取組を総合的に支援し、当該産業の活性化を図る。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

① 地域資源製品開発支援センター事業による地域産業活性化
・ 総合プロデューサーとデザイン専門支援員を配置し、地域資源を活かした魅力的な新商品開発を支援
② 販路開拓・新商品開発、後継者の確保育成などによる伝統的工芸品産業の振興
・ 長野県伝統工芸品展の開催、県内外の展示会への出展支援、百貨店での常設展示販売を実施
・ 熟練技能者を講師とした技術伝承講習会を開催
③ 伝統的工芸品のリブランディングを支援
・ コンサルタントによるブランド戦略策定
・ インターンシップ等による若年世代への魅力発信

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	地域資源製品開発支援センターによる商品化件数	件	19	20	↗	15	↘	20	未達成	中小企業者の地域資源を活用した商品開発に関する県の支援の進捗を測るための指標として設定。年間支援件数を100件としてその20%を商品化することを目標値とした。	
②	技術伝承講習会参加者数	者	57	91	↗	81	↘	60	達成	伝統的工芸品産業の人材育成に係る県の支援の進捗を測るための指標として設定。県が実施する講習会に関して、県下28産地のうち、1産地あたり2人以上の参加を目標値とした。	
③	展示会・商談会参加産地数	産地	4	40	↗	47	↗	30	達成	伝統的工芸品の販路開拓に係る県の支援の進捗を測るための指標として設定。県の支援により、県下28産地のうち、1産地あたり1回以上参加を目標値とした。	
④	伝統的工芸品産業の新規就業者数	人	3	3	→	3	→	3	達成	伝統的工芸品産業の後継者確保に係る県の支援の進捗を測るための指標として設定。3人/年の水準で後継者を確保を支援していくことを目標値とした。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	33,800	0	33,800	23,154	32,333	4.5
R3年度	0	24,500	37,659	62,159	22,266	47,808	4.5
R2年度	0	23,306	9,614	32,920	20,888	27,999	4.5

事業番号	07 04 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域産業の活性化事業		部局	産業労働部	課・室	産業技術課

6 主な取組実績と成果

（1）地域資源製品開発支援センター事業による地域産業活性化

・総合プロデューサーを中心として外部専門家等を交えた支援体制を構築し、構想企画からデザイン、販売促進、情報発信まで地域資源を生かした商品開発を一貫的に支援した。（支援による商品化支援件数：15件）

・具体的な商品化支援事例

フローズンデザート『もぎっと！キュン』の商品化

今井道の駅周辺の畑から収穫される新鮮な果物を冷凍。特に冷凍に不向きとされてきたスイカも、特殊な製法で美味しさを損なわずに製品化し、目玉商品となった。センターは商品パッケージのデザイン支援を行ったほか、銀座NAGANOでのモニタリング販売も実施。



（2）販路開拓・新商品開発、後継者の確保育成などによる伝統的工芸品産業の振興

・需要減少や後継者不足の課題を抱える伝統的工芸品産業について、販路開拓や魅力発信を支援したほか、後継者確保を支援した。

【主な取り組み】

①井上百貨店（松本市）で国・県指定産地の工芸品や職人が集まる「長野県伝統的工芸品展（23産地出展）」を開催

②ながの東急百貨店で1年間伝統的工芸品の常設展示販売を実施

③中国上海市で開催された「第12回上海国際伝統芸術招待展」へ県内の伝統的工芸品8産地12商品を出展し、海外へ向けたPRを実施

④産地の熟練職人を講師とした技術伝承講習会を7産地で開催

（3）伝統的工芸品のリブランディングを支援

・県内伝統的工芸品の認知度向上や魅力浸透と、ブランドイメージの再構築（リブランディング）を図るため、県内伝統的工芸品に関する消費者の興味関心、各産地の持つポテンシャル等について調査を実施した。

・信州打刃物、軽井沢彫の2産地でインターンシップを開催し、学生等が産地の魅力に触れる機会を創出し、若年層への魅力発信を支援した。また、軽井沢彫のインターンシップにおいては新規就業者3名の内定につながった。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	地域資源製品開発支援センターによる商品化件数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
これまで商品化支援において連携を行っていた外部事業がR3年度末に終了したこと、新型コロナウイルス感染症の影響により企業の活動が回復していなかったことが要因となり、目標未達成となった。							
指標②	技術伝承講習会参加者数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	達成
新型コロナウイルスの感染拡大に配慮しつつ、開催時期をずらす等柔軟な運用に努め、予定していた講習会を全て開催し、目標値を達成することができた。							
指標③	展示会・商談会参加産地数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
県内での新たな展示販売会の実施や、海外（中国）での展示会への出展を行う等、産地の出展数を増やし、目標値を達成することができた。							
指標④	伝統的工芸品産業の新規就業者数	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
コロナ禍ではあったが、伝統的工芸品産業インターンシップ等後継者発掘の支援を予定通り実施し、目標値を達成することができた。							

8 今後の事業の方向性

（1）令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

・商品開発等が一過性の取り組みとして終わらないよう工夫し取り組んでいく必要がある。

・伝統的工芸品産業は、需要減少、後継者不足等の課題がある。

・伝統的工芸品産業は、販路開拓などの事業を「伸ばす」取組、後継者へ「つなぐ」取組、消費者ニーズを捉えた新たな商品やサービスを展開する「つくる」取組の3本の柱をベースとして従来からの取組を進める他、今後は伝統的工芸品と他業種と連携した「広げる」取組を展開する必要がある。

・リブランディング事業で実施した調査では、県内伝統的工芸品の認知度は低く、工芸品によっては県内でも知らない人が多いが、一方で興味を持つ人も多く、潜在力は十分に期待できる結果となった。

（2）翌年度以降の事業改善の方策

・伝統的工芸品産業については、クラフト産業との連携やインターンシップ開催による後継者の確保を強化するとともに、リブランディング等長期的な視点での支援を強化する。

・伝統工芸品の魅力発信、新商品開発や工芸品を活用した新たなビジネスの創出を推進するため補助事業を実施する。

事業番号	07 04 02	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	地域産業の活性化事業		部局	産業労働部	課・室	産業技術課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	地域資源製品開発支援センター事業費		11,707 千円	12,448 千円	13,119 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	企画から商品化までの総合プロデュース	直接	総合プロデューサーを配置し、地域資源活用に取り組む企業に対し、企画から商品化までを支援 総合プロデューサー：1名配置 支援件数：91件		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	伝統的工芸品産業後継者育成・販路開拓支援事業		15,718 千円	8,400 千円	8,467 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	伝統工芸技術伝承講習会	委託	伝統工芸士、卓越技能者などの熟練技能者等を講師に伝統技術・技能の継承や多様な担い手確保を図る技術伝承講習会を開催 （委託先：長野県中小企業団体中央会） 講習会開催回数：40回		
2	新規就業者の定着促進支援	補助金	伝統的工芸品の製造に携わる新規就業者を対象として、その育成費用を助成 補助事業者数：3事業者		
3	展示商談会の開催・出展	委託	・第38回長野県伝統工芸品展を井上百貨店（松本市）で開催 ・第12回上海国際伝統芸術招待展に出展 （委託先：長野県中小企業団体中央会） 展示会出展回数：2回		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	伝統工芸品支援事業費		574 千円	467 千円	484 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	伝統的工芸品月間事業負担金	負担金	伝統的工芸品月間（11月）を中心に伝産関係機関、国、県が一体となり、作り手・使い手が直接対話、交流できる場を設けて、伝統的工芸品の普及、PRを図る【全国大会：秋田県、地区大会：東京都（負担先：伝統的工芸品産業振興協会、関東ブロック伝産事業実行委員会）】 負担金により開催されるイベント：2か所		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	伝統的工芸品Reブランディング支援事業		- 千円	- 千円	10,263 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	産地コンサルタントの設置	委託	産地に専門家を派遣し、個々の産地が抱える課題や強みを抽出・分析、将来の自走化に向けた戦略を策定 ヒアリング先産地数：13産地		
2	情報発信インターンシップの開催	委託	工房インターンシップを開催。参加者が自身のSNS等で産地の魅力を発信、若年層への情報発信基盤を強化 インターンシップ実施回数：2回		
3	魅力発信拠点の開設	直接	ながの東急百貨店で伝統的工芸品を展示・販売、消費者・バイヤーに向けて魅力発信を行う。 展示販売実施箇所：1箇所(1年間)		